

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社TORICO 上場取引所 東  
 コード番号 7138 URL <https://www.torico-corp.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 安藤 拓郎  
 問合せ先責任者(役職名) 上級執行役員管理部長(氏名) 中道 智宏 (TEL) 03-6261-4346  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,106	—	30	—	30	—	20	—
2022年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 20百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	16.42	14.93
2022年3月期第1四半期	—	—

(注) 2022年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,790	1,126	62.8
2022年3月期	1,930	1,071	55.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,124百万円 2022年3月期 1,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,147	14.0	340	70.5	347	67.3	233	53.0
								190.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期1Q	1,230,900株	2022年3月期	1,208,400株
2023年3月期1Q	—株	2022年3月期	—株
2023年3月期1Q	1,226,202株	2022年3月期1Q	—株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

- (注) 2022年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の期中平均株式数は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報 (<https://www.torico-corp.com/ir/>) で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)における世界経済は、コロナ感染症対策が定着化し、経済社会活動の正常化が進む中で、持ち直しの動きが見られるものの、ウクライナ危機の長期化は資源価格高騰をもたらすこととなりました。また、中国のゼロコロナ政策がサプライチェーンの機能低下に波及し世界経済に影響を与えることとなりました。ウクライナ危機は世界の政治・経済面において分断化のリスクを高めることとなり、世界経済の先行きは不透明な状況にあります。

一方で当社グループが主に事業を行う出版流通業界におけるコミック市場の概況は、公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2021年のコミック市場(紙と電子合計)は推計6,759億円と発表されており、2018年の1.9%増から、2019年は12.7%増、2020年は23.0%増、2021年は10.3%増と前年をピークに増加率は下がったものの2年連続で過去最高を更新しております。当社グループの主力サービスが属する紙コミックス市場(コミック誌を除く)も、2018年の△4.6%と中長期的な減少傾向にあった市場が、2019年は「鬼滅の刃」のブームの発生により4.8%と増加傾向に転じ、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための在宅勤務や外出自粛に伴って生じた、いわゆる「巣ごもり需要」と「鬼滅の刃」のブームの双方の後押しもあり24.9%と増加率はピークを迎えたものの、2021年も「呪術廻戦」「東京卍リベンジャーズ」等の継続的なヒットの発生もあり、0.4%増の2,087億円と、増加の勢いを維持しております。

当第1四半期連結累計期間の経営環境については、前連結会計年度の当社グループの大幅な売上・利益の拡大要因になった「巣ごもり消費」による特需要因はピークアウトを迎え、特需はゆるやかに減速しているものと想定されつつも、引き続き前年を上回る需要の持続を期待しておりましたが、残念ながら当第1四半期連結累計期間はコミック全巻セットの販売を基幹サービスとするECサービスにおいては、前年同四半期の売上水準を下回る結果となりました。

主力サービスの成長減速の要因としては、コロナ感染症対策の行動制限の緩和と共に人の動きが活発化し、前期にあった「巣ごもり消費」の特需的な要素が想定以上に失われたと考えられる事、また漫画を原作とする各種メディアコンテンツの展開が今期も持続的に発生し、当第1四半期連結累計期間も「SPY×FAMILY」等のヒットは発生しましたが、ヒット作品の数や規模が例年よりも小規模であった事、当社グループにおける積極的なサービス認知度の拡大施策がまだ十分に効果を発揮できていない事等が減速の要因となったと考えております。

また当社グループが成長サービスとして位置付けるイベントサービスについては、当第1四半期連結累計期間におきましては、行動制限が緩和されリアルイベントが徐々に復調する中で、2022年3月に名古屋に新規店舗をオープンした事での売上の拡大と、ECの活用による自社製造のイベントグッズ販売の拡大により順調な売上成長となりました。

上記の施策の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,106,716千円、営業利益は30,463千円、経常利益は30,351千円、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は20,137千円となりました。

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,790,860千円(前連結会計年度末比139,416千円減)となりました。総資産の内訳は、流動資産が1,630,956千円(前連結会計年度末比136,732千円減)、固定資産が159,904千円(前連結会計年度末比2,684千円減)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動資産は、取引の減少等に伴い、現金及び預金が94,038千円減少、売掛金が107,167千円減少したこと、一方で第2四半期以降の需要増加に向けた在庫準備で商品が67,644千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は、自社サービス関連の開発活動の実施でソフトウェア仮勘定等が増加したことにより、無形固定資産が8,209千円増加した一方で、繰延税金資産等が減少したことにより、投資その他の資産が8,579千円減少しました。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は664,165千円(前連結会計年度末比194,743千円減)となりました。負債の内訳は、流動負債が518,328千円(前連結会計年度比187,975千円減)、固定負債は145,837千円(前連結会計年度末比6,768千円減)であります。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、流動負債は、取引の減少により買掛金が70,407千円減少したことと、納税の実施により未払法人税等が76,929千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,126,694千円(前連結会計年度末比55,327千円増)となりました。主な変動要因は、2022年4月20日を払込期日とする有償第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ17,595千円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益等の計上に伴い利益剰余金が20,137千円増加したことによるものであります。

以上の結果、財務指標としては、流動比率が314.7%、自己資本比率が62.8%になっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間時点での進捗状況は当該予想を下回って推移しておりますが、第2四半期以降に予定されるコミック原作のメディア化等によるECサービスの改善基調と国内外を含めた行動制限の緩和によるイベントサービス拡大を想定しており、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	737,259	643,221
売掛金	366,490	259,322
商品	613,099	680,743
その他	55,122	50,668
貸倒引当金	△4,283	△2,999
流動資産合計	1,767,688	1,630,956
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	54,030	52,833
その他（純額）	21,760	20,643
有形固定資産合計	75,791	73,476
無形固定資産		
その他	16,094	24,303
無形固定資産合計	16,094	24,303
投資その他の資産		
繰延税金資産	36,125	27,591
その他	34,577	34,532
投資その他の資産合計	70,703	62,124
固定資産合計	162,588	159,904
資産合計	1,930,277	1,790,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	378,978	308,570
1年内返済予定の長期借入金	27,072	27,072
未払法人税等	81,022	4,093
その他	219,231	178,592
流動負債合計	706,304	518,328
固定負債		
長期借入金	152,605	145,837
固定負債合計	152,605	145,837
負債合計	858,909	664,165
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	160,556	178,151
資本剰余金	491,248	508,843
利益剰余金	417,316	437,453
株主資本合計	1,069,121	1,124,448
新株予約権	2,246	2,246
純資産合計	1,071,367	1,126,694
負債純資産合計	1,930,277	1,790,860

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)
売上高	1,106,716
売上原価	703,028
売上総利益	403,688
販売費及び一般管理費	373,224
営業利益	30,463
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	1
コイン失効益	596
その他	404
営業外収益合計	1,001
営業外費用	
支払利息	1,027
その他	86
営業外費用合計	1,114
経常利益	30,351
税金等調整前四半期純利益	30,351
法人税、住民税及び事業税	1,680
法人税等調整額	8,534
法人税等合計	10,214
四半期純利益	20,137
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,137

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)
四半期純利益	20,137
四半期包括利益	20,137
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	20,137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月20日付で、有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による払込を受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が17,595千円、資本準備金が17,595千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が178,151千円、資本剰余金が508,843千円となっております。